

ジェネリック医薬品に関するアンケート

結果について

アンケートの背景・目的

本年2月、ジェネリック医薬品使用割合通知を千葉県内の医療機関および薬局に対して送付いたしました。その際、ジェネリック医薬品に関するアンケートを実施し、今般、その結果をまとめました。今後のジェネリック医薬品の使用促進に向け、参考にしていただきますようお願い申し上げます。

調査対象

千葉県病院薬剤師会会員施設の医療機関および千葉県内保険薬局

実施期間

令和4年2月25日(金)～令和4年3月31日(木)

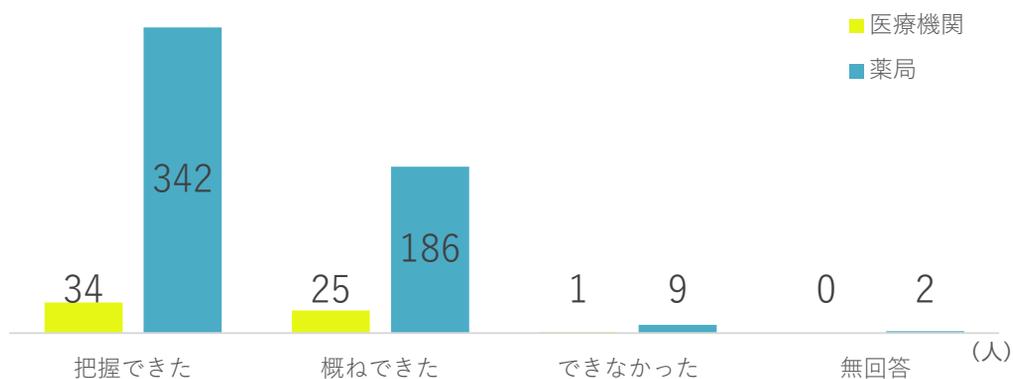
回答数

	医療機関	薬局
送付件数	238	2,266
回答数	60	539
回答率	25.2%	23.8%



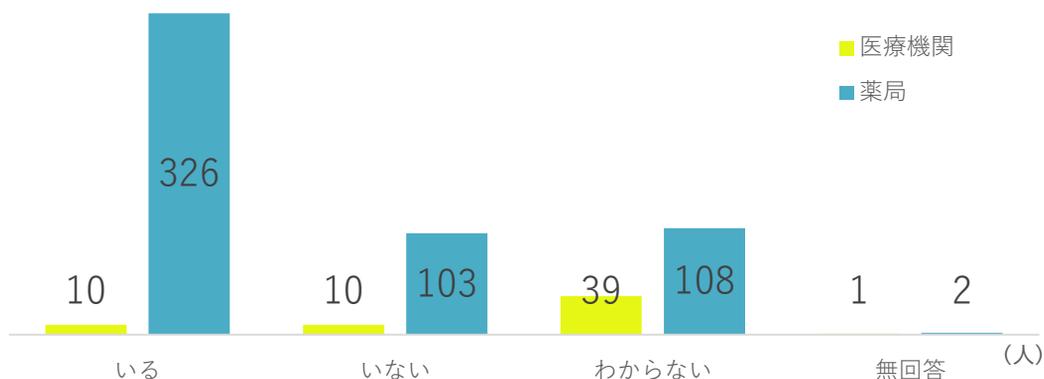
アンケート結果

1. 今回の通知を通して、自医療機関または自薬局の状況を把握することができましたか？

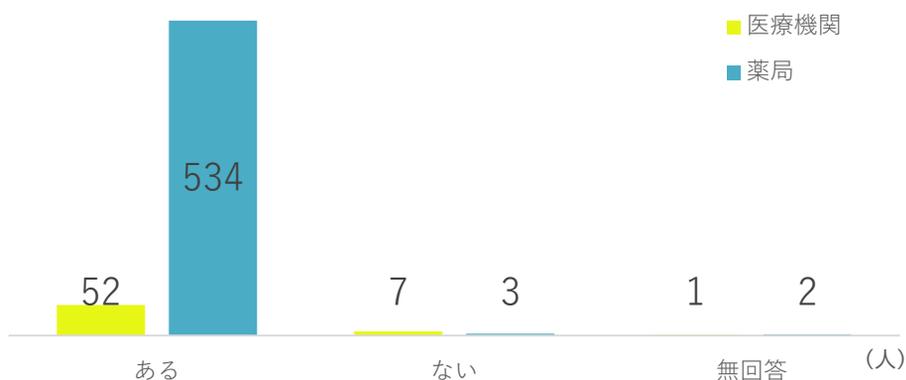


2. 協会けんぽでは、ジェネリック医薬品へ切り替えた場合の薬代の軽減額を記した通知を加入者あてに送付しています。

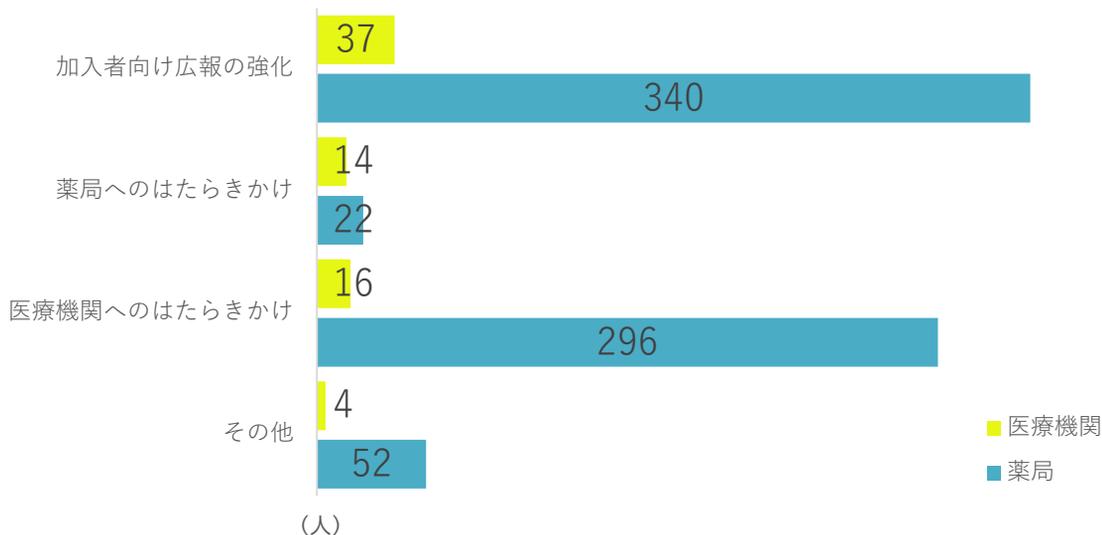
貴医療機関または貴薬局において、当該通知をきっかけにジェネリック医薬品への切り替えを申し出された患者様はいますか？



3. 今般のジェネリック医薬品の供給不足により、後発医薬品から先発医薬品に変更することはありましたか？



4. ジェネリック医薬品使用促進のために、保険者に求める取組は何ですか？



< その他の意見 >

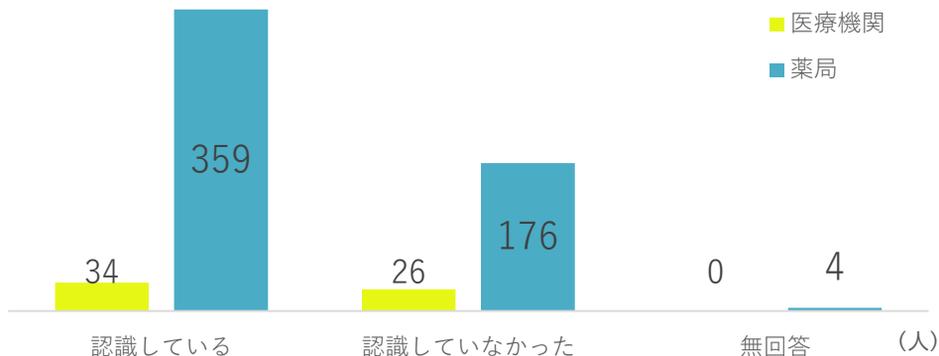
医療機関

- ・ 後発メーカー、流通卸改善のはたらきかけ。
- ・ ジェネリック医薬品製造メーカー向けに安定供給のはたらきかけをおこなってもらおう。

薬局

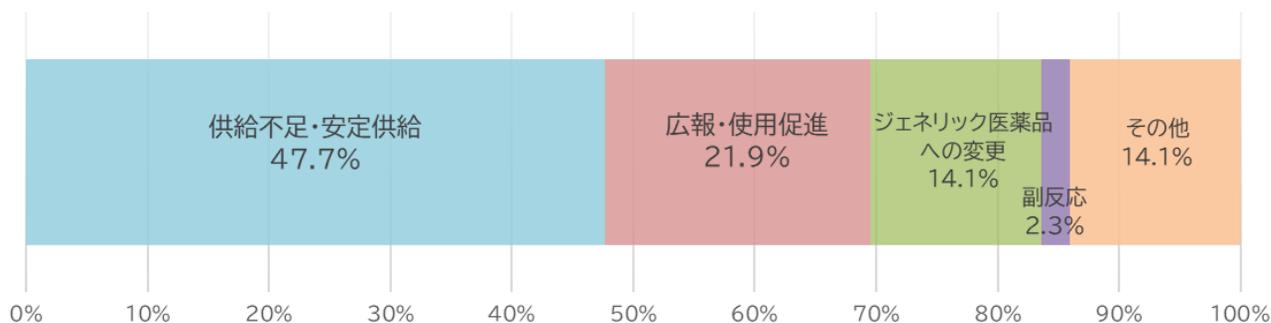
- ・ ジェネリック医薬品の供給不足の解消と品質の確保。
- ・ 先発医薬品を希望する場合の自己負担額の引き上げ。
- ・ 処方箋発行時に一般名処方として扱っていただくことや、変更不可のチェックを外していただくなど医師へはたらきかけてほしい。
- ・ 国へはたらきかけてほしい。
- ・ 製造メーカー及び問屋・流通へのはたらきかけ。
- ・ 公費扱いとなっている患者や乳幼児、ひとり親家庭などの場合、医療費の負担がないため、先発医薬品を希望されるケースが多い。その方へのはたらきかけをしてほしい。
- ・ ジェネリック医薬品の安全性や先発医薬品との同等性などを啓蒙してほしい。

5. 本通知は、令和2年度から今回送付しましたブルーの封筒を用いてお送りしておりますが、ご認識いただけていますでしょうか？



6. その他(ご意見がございましたら、ご自由にご記入ください)

※ その他の意見等につきましては、分類分けをし、主な意見を記入しています。



< 供給不足・安定供給に関する 主な意見 >

- ジェネリック医薬品の供給不足の影響で、先発医薬品で対応することが多々ある。
- 供給不足の種類が多いため、可能な薬品でも切り替えに踏み切れない。
- 今般のジェネリック医薬品の出荷調整により、たくさんの患者さんがお薬の変更、薬代の変更で困っている。
- 安定して患者さんに医薬品を提供したいが、供給が追いつかないため、その都度説明が強いられる。また、薬の入荷時期がわからないので困っている。

< 広報・使用促進に関する 主な意見 >

- 加入者向けの広報と医療機関への働きかけをより進めてほしい。
- 供給不足の状況を加入者に周知してほしい。
- オーソライズドジェネリックの説明も併せてほしい。

< ジェネリック医薬品への変更に関する 主な意見 >

- 変更不可での処方が多く困っている。
- 小児の場合、自己負担がないため先発医薬品で処方されるとジェネリックに変えづらい。

< 副反応に関する 主な意見 >

- 張り薬は、貼り心地やかぶれの問題から、先発医薬品を希望する方が多い。
- 張り薬は特に先発医薬品で希望する人が多く、調剤数量も多いため、その点が解消されれば使用割合は増えると思う。

< その他 主な意見 >

- お知らせありがとうございます。ジェネリック医薬品の使用促進のために協力していく。
- 先発医薬品、ジェネリック医薬品、両方を在庫することにより、期限切れで破棄する医薬品が倍以上に増えている。管理も時間がかかり必要。
- 調剤状況のグラフがとても有用なので、データが1ヶ月分ではなく、3ヶ月、半年、1年などもう少し長い期間だとよりよいと思う。

6. その他(ご意見がございましたら、ご自由にご記入ください)

【医療機関】

- ・後発品の供給不足が続いている間は、「ジェネリック医薬品へ切り替えた場合の薬価の軽減額を記した通知」を行わないでほしい。
- ・ジェネリック医薬品の製造の不幸により、先発医薬品にまで供給不足が生じ、迷惑この上ない思いをした。ジェネリック促進により、製薬メーカーの開発力が低下し、COVID-19に対して、国産メーカーのワクチン、治療薬の開発が遅れている状態に対して深く憂慮している。
- ・ジェネリック医薬品の安定供給をお願いしたい。

【薬局】

供給不足、安定供給に関するご意見等

- ・供給不足の影響で、先発医薬品で対応する事が多々ある。
- ・後発医薬品の使用促進に協力しているが、流通問題があるので思うようにならない。
- ・国は医薬品を国民に届ける義務がある。安心できる医薬品をきちんと供給できる体制を作してほしい。
- ・使いたくても入荷しないジェネリックどうすればいいのか？毎日、頭をかかえている。先発品に戻した方は、このまま先発品がいいと言う方もいる。
- ・後発品がなかなか入荷できない中、また後発品メーカーの相次ぐ不祥事の中、厚労省の調剤報酬のGE係数について、後発品の使用を促す点数付けをされても正直困る。けんぽ側からも訴えていただきたい。
- ・ジェネリックの安定供給を早々に解決してほしい。
- ・各メーカー出荷調整で新規の注文が不可で、新たに処方追加されたときや新患の方の処方時対応できないことがある。実績がないと注文しても受注してくれず、問屋も変更できず、薬を手配するのが困難である。今回たまたま購入できて次回必ず買うことができる保証はなく、毎回処方時にメーカー変更の説明としてデザイン等外観が違うことを理解してもらわなければいけず、患者さんにも迷惑をかけてしまっている。
- ・安定して患者に医薬品を提供したいが、供給が追いつかない為、その都度説明を強いられるが、入荷時期がわからないため回答に困っている。
- ・供給不足の状況下での目標設定に疑問を感じる。
- ・ジェネリック医薬品の供給不足の種類が多いため、可能な薬品でも切替に踏み切れない。
- ・今回の供給不足、困り込みは深刻な事態だ。ジェネリックの切替は必要だが、利益誘導による加速が現状を招いている。ジェネリックメーカーの適正な製造過程を見極めながら、徐々に移行すべきであったのに医療費引き下げのため、無理やり変更を強いた結果であることは明白である。昨年末から、薬品確保のためにどれほどの時間を費しているか、ご存じだろうか。
- ・ジェネリック医薬品の品質保障と供給が確保できなければ、ジェネリックの切り替えは進まない。
- ・製薬メーカーの相次ぐ不祥事によるジェネリック医薬品への不信感を払拭してほしい。

ジェネリック医薬品への変更に関するご意見等

- ・高齢者のジェネリックへの不安感が強く、GE出荷調整で一度先発に戻すと、次回より先発を希望される方が多い。
- ・処方せん発行機関の後発医薬品指定での変更不可や先発品併売品でも一般名としてもらいたい。ジェネリック医薬品の平均値までは保険適応とし、残りは自費としてもらいたい。
- ・医療機関で変更不可であったら、ジェネリックでAGを勧めても拒否されることが多く、困っている。
- ・大人の場合、ジェネリックへ勧めやすいが、小児の場合、負担額がないので、先発品が処方されているとジェネリックに変えにくい。
- ・先発品希望の人が多く、ジェネリックの比率が上がらなくて困っている。患者さんは薬局で言ってもなかなか聞いてもらえないため、最初からジェネリックで処方してあれば、処方せん通りでもらいたいと言われる。そのため、ドクターに最初から処方せんにジェネリックの薬で書いてもらえれば助かる。
- ・ジェネリックへ変更不可の処方せんが多い。

- ・加入者の方の中で、張り薬が特に先発品希望が多く、調剤数量も多い。また、今だに絶対先発品がいいという方も多くいて、これ以上ジェネリック割合を上げるのは難しい。
- ・ご年配の方にジェネリックの説明をしても理解していただけるまでに時間を要する。

ジェネリック医薬品の副反応に関するご意見等

- ・シップ系は貼り心地、かぶれの問題から先発品を希望する方が多い。それが解消されれば、全国的に利用率UPにつながると思う。
- ・ジェネリック医薬品で副作用が出た人があるため、中々目標に達しにくい。

広報や使用促進に関するご意見等

- ・加入者向けの広報の強化と医療機関へのはたらきかけをどんどんしていただき、ジェネリック医薬品を知らないという方を減らしてほしい。
- ・ジェネリックが不足している状況を保険者側からも広報してほしい。
- ・患者希望や供給不足で仕方ない部分もあると思う。しかし、さらに使用割合を伸ばすのであれば医療機関へのはたらきかけが一番有効的と思われる。
- ・一人親世帯(85福祉)の方で先発品希望の方が多い印象。難病以外の公費、特に福祉の方への使用促進が必要と思われる。
- ・オーソライズドジェネリックもあると説明欲しい。
- ・加入者への予防医学の広報や生活の指導広報へ力を入れることで、薬に頼らず医療費削減することができる。

その他のご意見等

- ・週刊誌や一部インフルエンサーによる後発品に否定的な意見に対応してほしい。
- ・先発品を保険適用外にしてほしい。
- ・資格喪失後の保険証の回収を徹底してほしい。また、高齢者負担割合を統一してほしい。
- ・先発医薬品、ジェネリック医薬品、両方を在庫することにより、期限切れで破棄する医薬品が倍以上に増えている。管理も時間がかなり必要。
- ・引き続き、後発品数量割合が100%を維持できるようがんばりたい。
- ・薬価が下げられすぎていて、そのことが最近の供給問題の一因でもある。支払い側としても安くするばかりの議論はやめるべき。
- ・後発品加算については、かなり不公平さを感じる。
- ・薬価が毎年下がり、薬によっては、先発品と後発品の価格差が僅かで、患者さんにとって支払い額が同じになってしまうものがあり、薬によってはジェネリックを推奨できないものが増えている。今、何円しか変わらないものを置いても、次の薬価改正で同じになってしまうのではと思うと、収納スペースを考えても先発品のままで置いたほうが良いと判断する場合がある。
- ・最新の情報がデータが欲しい
- ・調剤状況のグラフがとても有用なので、データが1ヶ月分ではなく、3ヶ月、半年、1年などもう少し長い期間だとよりよいと思う。